

東京都立工業奨励館長	橋 本 宇 一
神奈川県立工業試験所長	北 島 三 省
愛知県立工業指導所長	斎 藤 信 治
名古屋市工業研究所長	荒 木 鶴 雄
京都市工業研究所長	吉 本 晴 一
大阪府立工業奨励館長	佐 藤 正 典
大阪市工業研究所長	庄 野 唯 衛
兵庫県立中央工業試験所長	岡 本 起
右代表 当番幹事	
大阪府立工業奨励館長	佐 藤 正 典
日本学術会議会長 亀 山 直 人 殿	

拝 呈

貴会御隆昌の段大慶に存じ上げます。

さて、5月18日開催の七大都道府県市工業試験所連絡会議において、これら機関の研究員を優先的に海外に留学させ、先進諸国の最新技術を習得せしめるよう貴会より、これら自治体の機関長へ御勧告を願うことに決議致しましたので、右御諒承下さいまして何分ともよろしく御高配下さるようお願い申上げます。

敬 具

2-51

庶発第376号 昭和28年7月29日

内閣総理大臣 吉 田 茂 殿

日本学術会議会長代理 我 妻 栄

人文科学関係の学術用語の制定について（要望）

学術用語制定のことは、学問の進歩とその正しい普及にとつて、きわめて重要なことであり、本会議はさきに文部省学術用語分科審議会の事業の継続完成について要望するところがありました。

いうまでもなく、学術用語の制定は学問の相互連関性にかんがみ、自然科学と人文科学と並行して行われるべきであります。よつて、政府におかれでは、現在自然科学部門に重きのおかれている文部省学術用語分科審議会の事業を、人文科学部門においても更に拡大推進するよう、適当な措置をとられたく、ここに、本会議第64回運営審議会の議により、要望いたします。

（写…………文部大臣）